

第1章 中学校の給食現場 15

【中学校の給食の実態】

- ・全国の中学生の昼食の実態は：？ 16
- ・変化する時代背景と中学生の昼食事情 18
- ・中学生に必要なのは心温かい昼食 20
- ・給食のある自治体とない自治体の事情 22
- ・デリバリー弁当給食はやはり学校給食とは別物 24
- ・今ドキの中学生の食の性向 26
- ・デリバリー弁当給食を嫌がる中学生の本音は：？ 28
- ・家庭の事情と揺れるデリバリー弁当給食 30
- ・昼食時間の短さも給食移行のネックに 32
- ・給食のある東京都内の中学校へ 34

【揺れる中学校給食現場】

大阪府富田林市の選択

- ・あえて厳しい道を選んだ葛城中学校 36
- ・いろいろなスタイルを認めた中学校昼食 38
- ・給食にも持参弁当にもいろいろな配慮 40

- ・選択制給食には保護者の協力が不可欠 42
 - ・子どもの嗜好とのバランス 44
 - ・昼食時間の短さをカバーする配膳 46
- 大阪市の選択
- ・デリバリー弁当給食を採用 48
 - ・デリバリー弁当給食を利用する派と利用しない派に2分
生徒たちの感想は：「ふつう」 52
 - ・パン注文はかなりの金額負担 54
 - ・学校給食のあるなしで栄養に偏りが 56

大阪府吹田市の選択

- ・スーパードに学校給食の献立表示板 58
- ・基本は持参弁当。希望者にデリバリー弁当給食 60
- ・デリバリー弁当給食も教育委員会の栄養士が献立作り 62
- ・持参弁当とデリバリー弁当を交換する生徒たち 64
- ・持参弁当とデリバリー弁当給食の経済的矛盾 66

大阪府門真市の選択

- ・昭和31年から中学校の給食を実施 68
- ・ランチルーム完備にバランス良い献立 70
- ・「教育の中の給食」ととらえる門真市 72
- ・中学校だからこそ指導が必要な給食時間 74
- ・配膳短縮の工夫が給食時間にゆとりを 76

大阪府四條畷市の選択

- ・増えてきたセンター方式採用の中学校 78
- ・センター給食は生徒とのコミュニケーションが課題 80
- ・センター給食と自校給食の調理の違い 82
- ・センター給食のランニングコスト 84
- ・学校給食は経済効率優先？ 教育重視？ 86

大阪府茨木市の選択

- ・市内ほぼ全校でデリバリー弁当給食方式を採用 88
- ・パン注文にもデリバリー弁当給食にも課題 90

【意識改革の萌芽】

長野県の栄養教諭・杉木悦子さんのチャレンジ

- ・生徒たち自らが献立を立てる中学校 92
- ・きめ細かな献立作りを指導 94
- ・好きなものに偏りがちな献立の調整は？ 96
- ・ステキな献立にあふれた中学校給食 98
- ・学校全体で協力するからこそできるチャレンジ 100
- ・そして、確実に食べ残しは減っていった 102

【中学校の給食はどこへ向かうのか】

・自校給食の中学校にも難題山積 104

- ・どんな状況でも子どもの未来を考えて 106
- ・全国の中学校が自校給食になれば 108
- ・私立の中学校にも給食を望む声 110

第2章 東日本大震災―そのとき給食は 113

食へ歩きで訪ねた福島の小学校は今…… 114

福島の取り組み

・大混乱の給食現場 116

- ・震災から4カ月後の福島県三春小学校へ 118
- ・食へながらそのことを話したす子ども達 120
- ・原発事故さえなかったら…… 122

- ・避難の子ども達を受け入れて、おいしい給食を 124
- ・給食が、被災者の心の傷を癒す時間に 126

埼玉県川口市の取り組み

- ・計画停電で翻弄される給食現場 128
- ・安全性と食材調達にも不安 130

神奈川県横浜市の取り組み

- ・安全性と食材調達にも不安が 132
- ・保護者からは給食費返還の要望も 134
- ・明暗分かれた卒業生の最後の給食 136
- ・卒業生への最後の給食が、パンと牛乳のみ 138

関東圏の学校でも混乱続きの学校給食
これからの給食食材調達の問題 140

第3章 食物アレルギーと正しいやり給食 145

寝屋川市立池田小学校の心の給食育

- ・ アナフィラキシー反応に深い理解を 146
- ・ 全国的にもめずらしい代替給食を提供 148
- ・ アナフィラキシー児にもおいしいキムチラーメン 150
- ・ アレルギーへの取り組みが子どもたちの心育でに 152
- ・ やろうと思えば、きつとできる 154
- ・ アレルギーを持つ子どもとみんなが一緒に 156

第4章 食育のちからと学校給食の未来 159

【食育のちから】

- 給食からはじまる「給食育」へ
- 食育と食器の関係 160
 - ・ 正しい食べ方は食器から 162
 - ・ 犬食いづにつながるワンプレート食器 164
 - ・ 給食は「食のお手本」へ 166
 - ・ ワンプレート食器に違和感を感じないとは!! 168

- ・ 糸尻がない碗の奇妙な持ち方 170
 - ・ 1センチ高の糸尻は、正しく持つための形 172
 - ・ 箸も器もきちんと持つことの大切さ 174
- 給食育を通して
- ・ 授業で学ぶ食育と、給食で取り組む食育 176
 - ・ 教師も気づかない、変な食器の置き方 178
 - ・ 食器の置き方が、食べ方を左右する 180
 - ・ 家庭からの期待は「食のしつけは給食で」 182

【学校給食の未来に向けて】

- ・ 未来の食卓は学校給食から 184
- 愛媛県今治市立花地区の取り組み
- ・ 30年前から有機給食へ 186
 - ・ 自分たちで育てた有機野菜の使い方 188
- 横浜市の栄養士・寺村正生さんのチャレンジ
- ・ 本当においしいお米を食べさせたい! 190
 - ・ 給食の改革は「意識改革」あつてこそ 192
 - ・ 有機栽培「有悠米」を食べた子どもたちの反応は…? 194

おわりに 196

【中学校の給食の実態①】

全国の中学生の昼食の実態は…？

中学生の給食事情が気になり、中学校の「給食食べ歩き」を続けています。身体的成長の著しい小学校時代にも学校給食は大きな役割を果たしていますが、一食一食を大切にしなければならぬのは、心身ともに変化の著しい成長期にある中学生にとっても同じことです。

2009年度（平成21年度）の文部科学省の学校給食実施状況の調査によると、全国90.8%の中学校で学校給食が実施されています。都道府県別に見ると、100%実施は47県中12県、95%～99.9%の県が25県、両方を合わせて47県中38県の中学校で、ほぼ給食が実施されているわけです。

一方、実施率の低い県は、神奈川県を除くと、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、和歌山県と、なぜか近畿地方に集中しています。なかでも完全給食の実施率は、神奈川県16.1%、大阪府はなんと7.7%と最低です。もちろんこの数字が、自分の

子どもには家庭で作ったお弁当をきちんと持たせるべきだという、保護者の確固たる意志に基づいたものなら、すばらしいことです。ところがどうやら実態は、パン1個を買ってお昼を済ませる中学生、コンビニサラダだけでダイエットを決めこむ中学生、コンビニ弁当に頼る中学生が多いというのが現実。気がかりです。

業者委託のデリバリー弁当給食という方法を探り始めた大阪市をはじめ、吹田市やその他の市も、その利用率の低さに苦戦。また、そのシステムと弁当の内容も新たな議論を呼んでいます。中学校給食が定着している自治体が多数を占める中で、実施が遅れた府県の中学校給食はどのような方向に行こうとしているのでしょうか。

食べ歩いた中学校給食の例と課題をご紹介します。

